

墨田区議会

自由民主党会派報

発行

墨田区議会自由民主党
墨田区吾妻橋1-23-20
発行責任者 中村光雄
編集責任者 出羽邦夫

区議会ホームページ
<http://www.city.sumida.tokyo.jp/~kugikai/>

~水と歴史のハーモニー~
墨田区基本計画調査特別委員会を設置



世界の観光都市「すみだ」の実現に向けて

墨田区議会自由民主党 幹事長 中村光雄

の責任と役割を果たすことが、区内に対する期待と信頼を担うことになるとの確信のもと、今期最後のこの一年を、会派全員が一致して全力で行動し、努力することを誓います。

本年は、昨年策定された基本構想に基づく、今後、前期十年間の基本計画の策定が大きな課題であります。特に、墨田区に新タワーが建設されることが決定し、「世界観光都市・すみだ」の実現が、墨田区議会第一党として、我が党が中心となって議会の機能を發揮し、区政府にしっかりとそ

であると考え、その成功に向けて全力で行動します。

第58代議長就任にあたって

墨田区議会議長 田中邦友

生んだ世界の絵師・葛飾北斎の作品を展示する北斎館をはじめ、前基本計画の持ち越し事業の実現と見直し等をはじめ、二〇一五年の墨田区が「人々がいきいきと輝く」「夢と希望のまち」「魅力都市すみだ」を目指し、新たな計画事業等に全力を尽くして取り組みます。

改革政黨・自由民主党に対する、区民皆様の期待と信頼に応えるよう頑張ってまいりますので、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げ、今後とも厳しいお示唆、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、更なる行政改革の推進に安全・安心なまちづくりや子育て支援、財政基盤を確立するものとし、より財政基盤を確立するものとし、お願いし議長就任の支援をいたします。

援、学力向上対策など、緊急課題への積極的な取り組みをめらています。加えて、都区の役割分担に応じた財源分配の実現など、先送りされた都区制度改革の課題解決も急がなければなりません。

このような大切な時期に、区議会議長という要職に就任し、その職責の重さを痛感する一方、議長として区議会の機能が最大限發揮できるよう、また、都区制度改革に対しては特別区議会議長の一員として早期解決に向け全力で取組んでまいります。

議員が全議員の賛同を得て選出されました。

今年度の墨田区監査委員に

荒澤議員を選出



第2回定例会での質問概要

平成18年6月13日~6月30日

代表質問



〔問〕 新タワーは六一〇メートルで世界一の高さとなり、三五〇メートルと四五〇メートルの地点には展望台が設けられる。総事業費は五百億円。完成後には、観光客の動線が大きく変わり、浅草などとの相乗効果も期待されることから東京東部地域の一大観光エリアが形成されることになり、本区の地域経済には大きな波及効果が期待できる。民間経済研究所の試算では墨田区に年間五百万人の集客が見込まれ、経済効果は四百七十三億円になるとのことだ。これを実現するためには、北十間川の整備や水上バス、シャトルバスの運行など、これまでの再開発とは次元の違うまちづくりを、九月を目途に策定する。将来像のイメージとしては、観光と防災機能が充実したまちづくりをコンセプトとし、事業主体のゾーニングを取りまとめ、事業主導による東武鉄道・押上・業平橋駅周辺土地区画整理組合に提案し、実現を図る。いずれにしても区内全体への回遊性をも考慮した幅広いまちづくりに取組んでいく。

〔問〕 次に、事業経費について伺う。事業経費五百億円は東武鉄道が負担し、放送事業者の施設使用料、観光客の入場料、物販売り上げでまかうと言わわれていた。



木内 清

○新タワーとまちづくりについて

○基本計画の策定について

○総合体育館のPFI事業について



○学校の耐震化について

○交番の整理・統合】再考を要望

○学校の耐震化について

○交番の整理・統合】再考を要望

○学校の耐震化について

○学校の耐



猪口邦子大臣 (少子化・男女共同参画担当)と意見交換

昨年、衆議院議員に初当選し、第三

次小泉改造内閣に初入閣を果たした猪口大臣は、記念撮影での鮮やかなブルーのドレスなど印象強く、その発言や行動にもいろいろと話題に富んだ大臣であります。少子化担当大臣として私たち地方自治体の実情、苦悩を知つていただきために、地元選出の松島みどり衆議院議員を通じ、大臣室で意見交換をさせていただきました。



会派の調査・研究活動

近隣区の先進施策を調査するため、六月七日、教育改革に積極的に取組んでいる杉並区と品川区を視察してまいりました。瀧澤議員は公務監査のため欠席。

本年度から我が区では、小学校三年生までの医療費無料化、中学校三年生までの入院治療費の無料化を行うこととしていますが、国はこれを取り上げ、区の財政に余裕があるとの理由でペナルティを課すなど、地方の取り組み

と国の方針に乖離があります。そこで私たちは、真に「子どもを産み・育てる社会」をつくるため、国の取り組みをただすよう意見交換を行いました。

〈杉並師範館〉
杉並区では、教育特区を申請して「日本語」教育を充実し、「学校経営塾」や「杉並師範」など、独自の施設を行っています。
「教育は人なり」、人が人を育てるという人間社会で最も尊い営み、それが教育であり熱意あふれる教師が必要であります。杉並区では、小学校教員免許資格取得予定の学生や、既に取得済みの社会人を対象に一年間の研修を行ない、区独自の採用分を確保しています。一般に教員は東京都で採用して各区に



【品川区若月教育長に講演を依頼】
品川区では、学校選択制、小中一貫教育、小中連携教育と教育改革を積極的に進めている先進区です。前例のないことをはじめて行うには、いろいろな障害があるものですが、教育分野においては特にそれが顕著です。並々ならぬ努力と信念がなければ進めることはできません。

それを、あふれる情熱と確固たる信念で方向付けを行い、実践哲学を持つ現場の第一線で推し進めておられるのが品川区の若月秀夫教育長です。今回は、その若月教育長のあふれる教育愛、人間愛、先を見据えた教育論を、たっぷりと約二時間にわたり拝聴してまいりました。

配属され、その身分も人事権も都が掌握しており、各区の特色や特性を育てることには大変な課題があるところであります。杉並区でのこの施策は、これから教員養成、都による一括採用運営に一石を投じたものであります。

—各常任委員会の我が会派委員紹介—



【地域都市委員会】
地域振興部、危機管理担当、防災、商工担当、新タワー、観光推進担当、環境担当、都市計画部、都市整備担当を所管する委員会で、町会、リサイクル、商工、まちづくり等の区民生活に密着した事業を担当する委員会です。

左から、松野弘子委員、木内 清委員長、早川幸一委員、沖山 仁委員



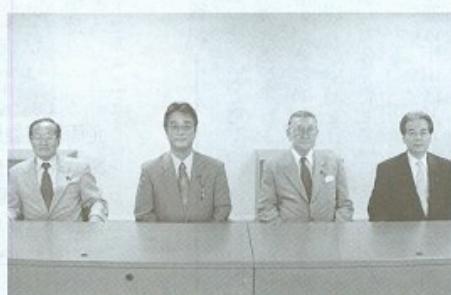
左から、瀬口敏郎委員、西原文隆委員長、瀧澤良仁委員、中鶴常夫委員

【企画総務委員会】
企画経営室、総務部、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、区議会事務局を所管する委員会で、行政を進めるための企画、政策を決定し、条例の立案、予算財政に関する事、また他の委員会に属さないこと等を担当する委員会です。



【区民文教委員会】
区民部、教育委員会を所管する委員会で、住民記録、戸籍事務及び国民年金、税務など、住民に身近な窓口業務、並びに学校教育、生涯学習、スポーツ振興、図書館等の教育行政を進める委員会です。

左から、阿部幸男委員、桜井浩之委員長、坂下 修副委員長、中村光雄委員



左から、小池武二委員、出羽邦夫委員長、中沢 進副委員長、田中邦友委員

【福祉保健委員会】
福祉保健部、高齢者担当、保健衛生担当を所管する委員会で、子育て支援、保育園、障害者や高齢者等への福祉施策、介護保険、保健所を担当し、区民の福祉健康に関する事を進める委員会です。

